

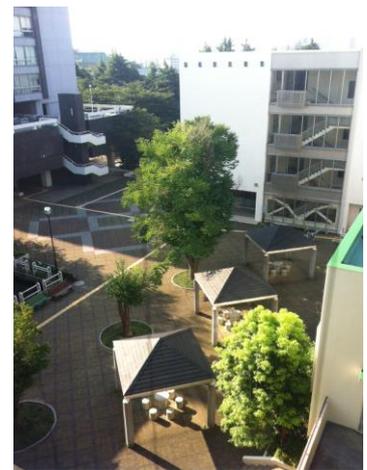
## 交換留学の生活

林瑞美 (ニュージーランド オタゴ大学)

ニュージーランドから日本に留学して、あっという間に約1年が経ちました。私は日本語を上達させ、日本の文化を体験するために日本に来ました。お茶大を選んだ理由はいろいろありますが、一つはお茶大には交換留学生のための個人チューターがいるからです。日本に来る前、心配することが多くあったので、チューターがいたら、きっと一人より安心できると思いました。

私は留学するのが初めてではないですが、寮で一人暮らしは初めてでした。留学生の皆さんと同じように、最初日本の生活については時々問題が起こっていました。しかし、幸いなことに寮に寮母さんがいるので、日本の暮らしについて色々なことを教えてくれました。病気の時も私のことをとても心配してくれて、寮母さんたちにとっても感謝しています。一人暮らしは日本語だけではなく、料理や洗濯などの家事を自分でしなければならぬので、最初はちょっと困っていましたが、2か月ぐらい慣れた後で、だんだんうまくなりました。そして、寮の近くの大山商店街には、様々な店（スーパーや薬屋など）がありますので、とても便利だし、住みやすいところです。寮から大学まで、徒歩と電車の移動で大体40分ぐらいです。あまり遠くないと思います。

日本の大学はニュージーランドの大学と異なっているので、日本の大学生活はとても新鮮でした。お茶大で交換留学生は一学期で8科目を選んで、一週間で4日必ず学校に出席しなければならないです。しかし、一つの授業は90分なので最後までなかなか慣れませんでした。交換留学生の授業は単位がもらえる日本語演習と日本語事情演習と、単位がもらえない特設日本語です。そして、留学生用の授業以外の日本の学生が受講する授業も取れます。私は色々な授業を受けました。第一学期で、日本語演習ⅤBを選びました。その授業は日本語特定の文法について、先生と一緒に討論しながら、正しい使い方を勉強しました。私はいつも文法が大好きなので、その授業は非常に役に立つと思います。そして、一番いい経験ができた授業は日本事情演習IVB（多文化共生論）です。この授業の印象がとても深かったです。ヒューマンライブラリーというマイノリティーの人達をサポートする組織が存在していることを初めて知りました。そして、この授業では、そのヒューマンライブラリーの人達を誘って、交流する機会がありました。その人たちは一般人より辛い



教室の窓から見えるキャンパスの景色

生活をしていました。彼らのことを理解した後で、自分の価値観も変わり、彼らを心からもっと尊敬しました。日本事情演習ⅢBはビジネス会話についての授業でした。私は以前ビジネス会話についてはあまり勉強していなかったので、その授業は最初ちょっとス

トレスがありましたが、先生のおかげで尊敬語の使い方が以前よりわかるようになりました。そして、上級ⅡBはN1対策についての授業でした。このクラスはJLPTのN1を受けたい学生たちにとってとても役に立ちました。先生は特に読解をよく指導して下さい、私の日本語は一学期でかなり上達しました。日本語演習ⅣBはレポートについての授業でした。その授業は日本語のレポートの書き方がわからない留学生たちにとって、良い授業でした。宿題が多かったが、先生は一つ一つ学生たちの文章をチェックして、意見を書いて下さいました。一学期で自分はどのように進歩したのかちゃんとわかりました。第二学期で、日本の社会や文化についての背景や歴史（江戸）に関する授業—日本事情演習ⅡAを勉強しました。この授業はとても面白かったです。なぜなら、私は江戸時代のことが大好きで、この授業は江戸の歴史や伝統や文化などのことを全部含めて、勉強できたからです。そして、上級ⅠAは、日本の文化についての文章を読んで、理解して、自分の国の文化と比べて、先生とクラスメート一緒に討論をする授業でした。この授業は日本の文化だけでなく、クラスメートの国の文化も少し理解できて、意義深いクラスだと思います。

お茶大で国際課とグローバル教育センターは様々な活動を実施しています。留学生は興味があったら、誰でも参加できます。例えば、日本人と留学生の交流と日本部下の体験のために、1泊2日の旅行や歌舞伎の鑑賞会や着物や浴衣の着付け教室などの活動が行われています。そして、交換留学生のために、相談室を設置しています。私はよくレポートを書いたら、相談室のチューターにレポートの文法をチェックしてもらいました。チューターたちのおかげで、たくさん正しい日本語の文法を勉強しました。

私は日本に来て本当に良かったと思いました。なぜなら、毎回外国に行くといろいろなこと(文化や知識などのこと)を学べるからです。私は日本でたくさんの友達(日本人と留学生)を作れました。留学生は最初日本に来た時、カルチャーショックやここの生活になれないことが多くて、たくさん困ったことがありましたが、みんなお互いに励まし合って、助け合っているので、日本で生活はだんだん良くなりました。そして、一緒に勉強したり、旅行したりして、日本の文化を体験して、貴重な経験ができました。交換留学生はせっかく日本に来るので、日本語の勉強だけではなく、実際に日本の文化や社会や日本人との交流などを体験するのもとても重要だと思います。